

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

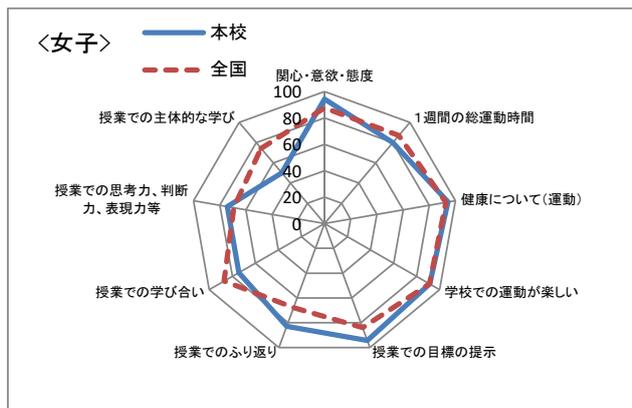
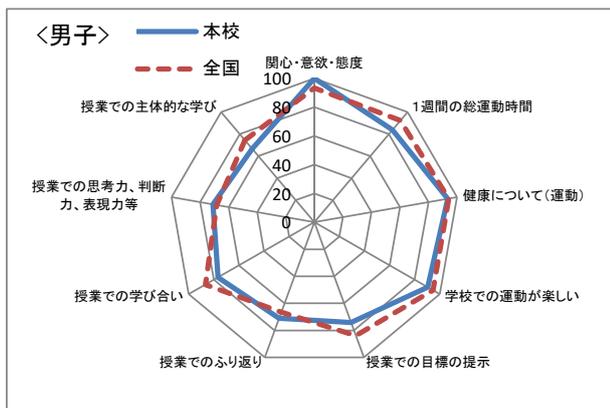
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目	○		○					○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目			○						

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

・関心・意欲・態度や健康(運動)についての項目は全国平均を上回っていることから、運動することへの関心・意欲は高いことが分かる。委員会活動主催の運動に関する集会等で、遊びを通して体を動かす機会を提供していることで運動量を確保できている。一方で、授業での主体的な学びや学びあいの項目は全国平均を下回っている。授業の中で子供同士で教えあい、学びあう時間を増やしていくことが課題である。また、「放課後や休日にスポーツや運動をする」ことや「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」割合が全国平均を下回っている。家庭への運動の推奨・啓発が十分でなかったことも課題として挙げられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育科の授業(準備運動)において、「北九州体力向上プログラム」の中から全校共通の運動に加え、毎回必ずランニングを取り入れる。
- 1時間の学習の中で、「めあて」と「まとめ」の提示、「学びあいの時間」を確保を必ず行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 体力テストの結果や持久走大会の結果を職員室前に掲示し、児童だけでなく、学習参観などで保護者にも見ていただけるような環境を整える。
- 休み時間、「ランタイム」や定期的なチャレンジタイム(遊具を使った運動遊び)、学級対抗でのスポーツなどを実施していく。